

施工業者様用

〈施工説明書〉

壁厚収納

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・棚板の耐荷重は1枚当たり10kg。

棚板の耐荷重を越えて収納しますと棚板が破損したり脱落してケガの原因となります。

・ヒンジを分解しない。

扉取り付け用のヒンジを分解したり、無理に曲げたりすると、扉が脱落してケガの原因となりますので、絶対にしないでください。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・確実にヒンジと座金をジョイントする。

扉取り付け用のヒンジが確実に座金とジョイントされていないと、扉が脱落してケガの原因となりますので、確実にヒンジと座金をジョイントしてください。

・確実にキャビネットと壁面を固定する。

キャビネットがあらかじめ間柱・補強桟等の下地処理を施した壁面と固定されていないと、キャビネットが転倒してケガの原因となりますので、確実にキャビネットと壁面を固定してください。

開梱

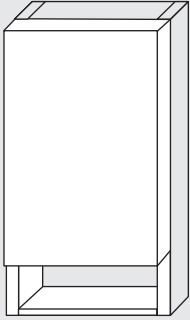
梱包を開いたらまず最初に下表の部品に不足および問題点がないかどうか確認してください。

■ 梱包内訳表・寸法詳細

※扉とボックスは別梱になります。扉取り付け用のスライドヒンジ・座金はボックスの梱包に入っています。

トイレ収納A

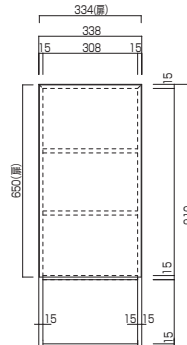
姿図



	部材名	数量
	ボックス	1セット
	扉(フラット)	1枚
	可動棚	2枚
	棚ダボ	8個
	下地固定ビス	4本
	ビスワッシャー	4個
	キャップ	4個
	スライドヒンジ座金	2個
	スライドヒンジ(扉)	2個
	座金ヒンジ取り付けビス	8本
	マグネットラッチ本体	1個
	マグネットラッチ取り付けビス	2本
	マグネットラッチ扉用	1個
	マグネットラッチ扉用取り付けビス	1本

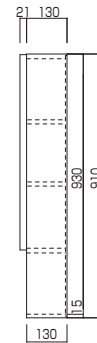
正面図

(単位:mm)



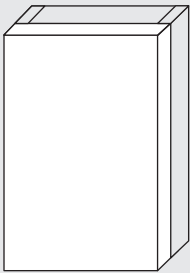
側面図

(単位:mm)



トイレ収納B

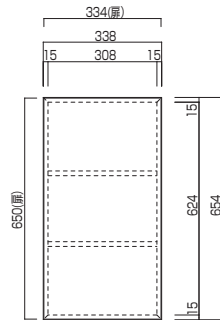
姿図



	部材名	数量
	ボックス	1セット
	扉(フラット)可	1枚
	動棚	2枚
	棚ダボ	8個
	下地固定ビス	4本
	ビスワッシャー	4個
	キャップ	4個
	スライドヒンジ座金	2個
	スライドヒンジ(扉)	2個
	座金ヒンジ取り付けビス	8本
	マグネットラッチ本体	1個
	マグネットラッチ取り付けビス	2本
	マグネットラッチ扉用	1個
	マグネットラッチ扉用取り付けビス	1本

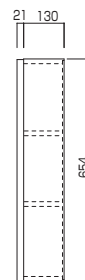
正面図

(単位:mm)



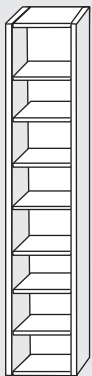
側面図

(単位:mm)



書棚(トールタイプ)

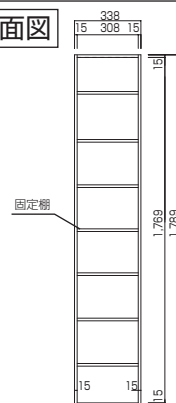
姿図



	部材名	数量
	ボックス	1セット
	可動棚	6枚
	棚ダボ	24個
	連結金具	3本
	下地固定ビス	8本
	ビスワッシャー	11個
	キャップ	11個

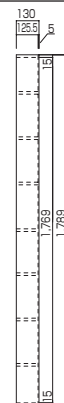
正面図

(単位:mm)



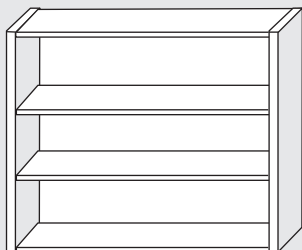
側面図

(単位:mm)



書棚(フロアタイプ)

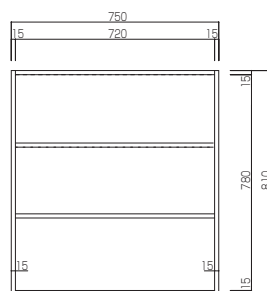
姿図



	部材名	数量
	ボックス	1セット
	可動棚	2枚
	棚ダボ	8個
	連結金具	3本
	下地固定ビス	4本
	ビスワッシャー	7個
	キャップ	7個

正面図

(単位:mm)



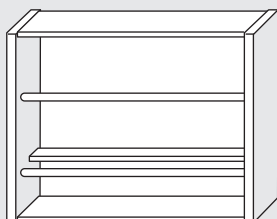
側面図

(単位:mm)



マガジンラック

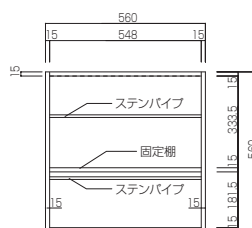
姿図



	部材名	数量
	ボックス	1セット
	下地固定ビス	4本
	ビスワッシャー	4個
	キャップ	4個

正面図

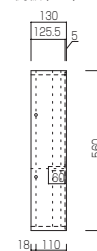
(単位:mm)



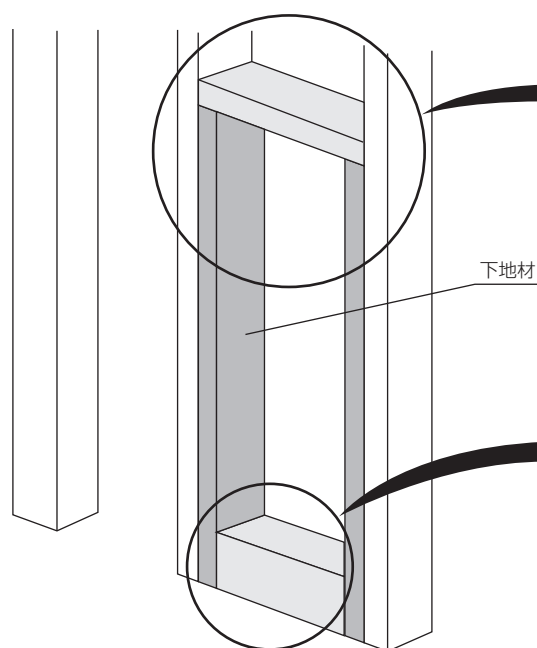
側面図

(単位:mm)

側板(TW)

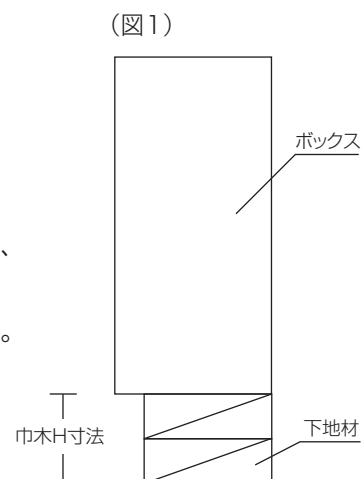


1 壁面下地処理

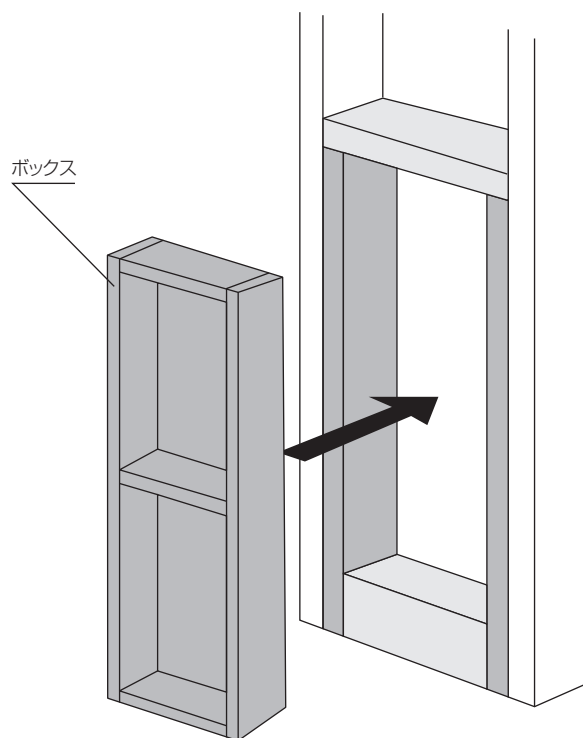


設置位置を任意の場所に決め、ボックス外寸法に合わせて(外寸法+2mm程度)間柱のあいだに下地材を設置します。

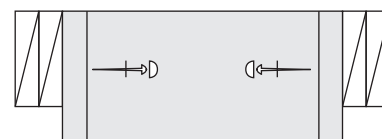
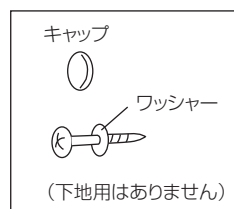
書棚(トールタイプ)については、下端下地材を化粧巾木の高さに合わせて設置してください。(図1)



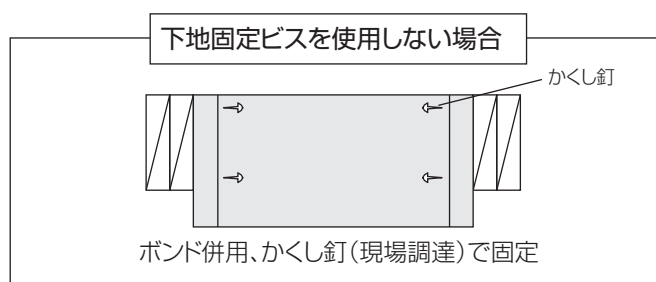
2 ボックスの固定



ボックスを壁下地間へ固定します。

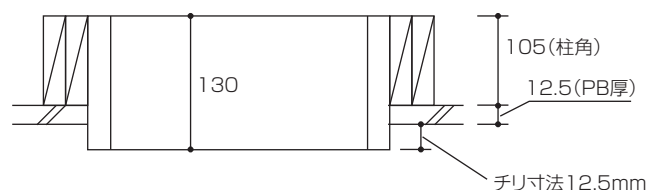


ボンド併用で同梱の下地固定ビスで固定します。



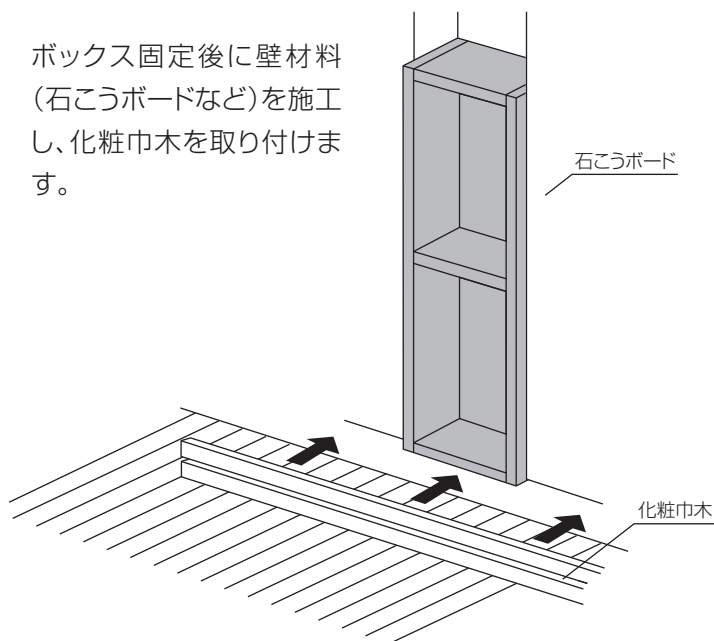
※壁仕上げ面及び化粧巾木の厚みを考慮し、チリ寸法を調整してください。

【例】 柱角105mm
PB厚12.5mmの場合

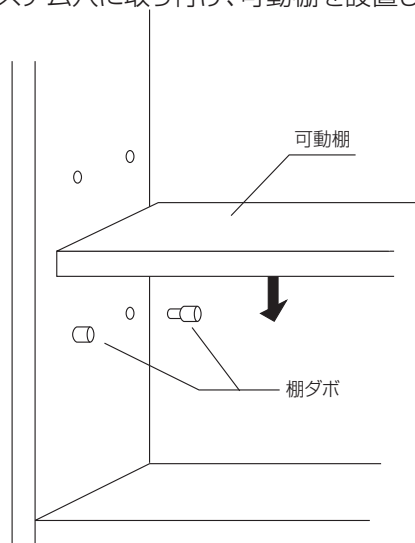


3 壁材料の施工・巾木の取り付け、可動棚の設置

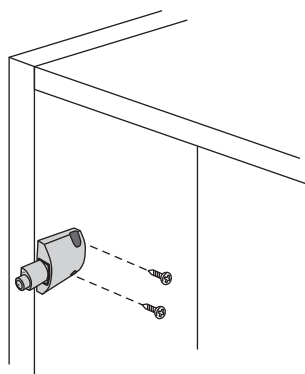
ボックス固定後に壁材料（石こうボードなど）を施工し、化粧巾木を取り付けます。



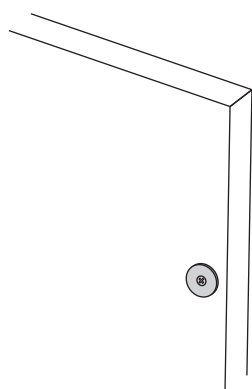
ボックスを壁下地に取り付け後、棚ダボを側板のシステム穴に取り付け、可動棚を設置します。



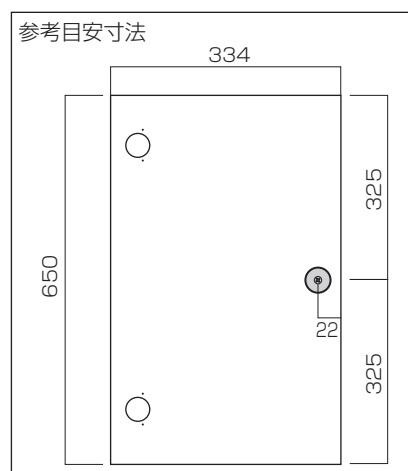
4 マグネットラッチの取り付け



①ボックスの側板にマグネットラッチ本体を同梱のビスで取り付けてください。ボックス側板には取り付けの誘い穴(φ2.5)があいています。必ず指定の位置に取り付けてください。

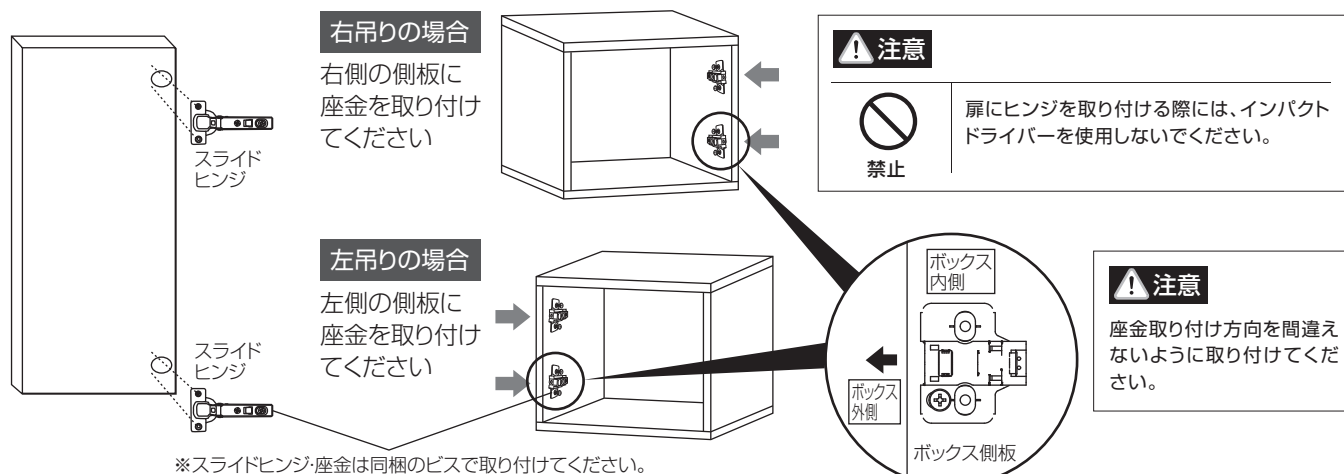


②マグネットラッチ受けを同梱のビスで取り付けてください。
※事前に取り誘い穴を加工して施工してください。
扉を取り付け上下、前後調整を行った後マグネットラッチ受けを取り付けます。

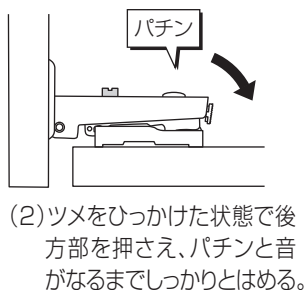


扉取り付け

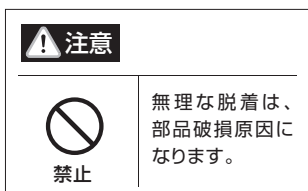
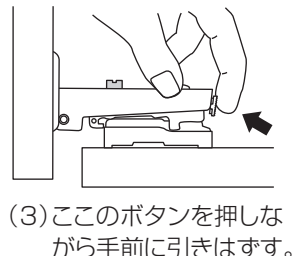
■扉取り付け



取り付ける場合



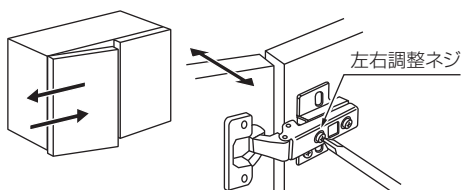
取りはずす場合



■扉の調整(スライドヒンジの調整)

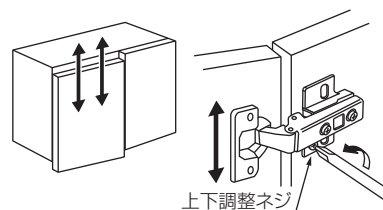
扉の左右調整

左右調整ネジを回して左右調整をしてください



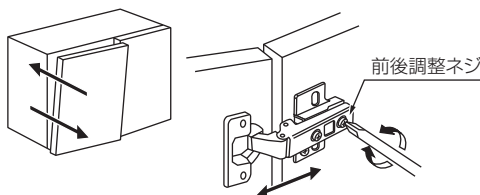
扉の上下調整

上下調整ネジを回して上下調整をしてください



扉の前後調整

前後調整ネジを回して前後調整をしてください



お願い

調整ネジの調整はインパクトドライバーを使用しないでください。
調整ネジの破損の原因になりますので必ず手締めドライバーで調整してください。

施工終了後

◆養生

施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着性が強く、化粧単板および塗膜のハガレの原因になりますので、別売りの養生テープ(ZY0211)をご使用ください。

◆お手入れのしかた

キャビネットが汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。